

## YNU研究イノベーション・シンポジウム 2019 開催報告

### ヘルスケアのために大学と地域が連携する –そして“MaaS”へ–

昨年11月26日に、YNU研究イノベーション・シンポジウムを開催しました。毎年実施する全学的シンポジウムで、神奈川県に拠点を有する企業、研究所、自治体等との連携強化を目的としています。今回は、Society5.0という未来ビジョンをテーマに、ビジョン実現の駆動力となる「MaaS (Mobility as a Service)」という新たな流れを取り上げました。

今、社会では、モビリティ(移動すること)が大きく形を変えようとしています。バス、鉄道などの様々な移動が一つにつながり、システムになり、「移動することがサービス化」された社会、MaaSが出現します。そして、このMaaSが創り出す新たな盤面で、産業がその姿を変えていきます。この中で「ヘルスケアはどのような変貌を遂げるのか」、このことをシンポジウムで検討しました。「ヘルスケアのために大学と地域が連携した実例」や「MaaSという新たな流れの内容」を示した上で、神奈川でのSociety5.0実現に向けて「MaaSが拓くヘルスケアの未来」を議論しています。これらの議論を踏まえ、ヘルスケアとMaaSを結びつけた新たな産業の創出を目指し、産学官が連携するオープンイノベーションを展開していきます。

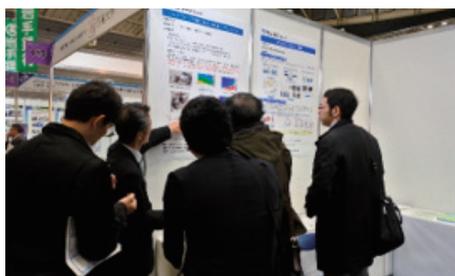


## テクニカルショウヨコハマ、テクノトランスファー in かわさき、CEATEC 出展報告

産学官連携推進部門では、各種展示会への出展を通じて本学の研究シーズをPRしています。2019年2月6日(水)～2月8日(金)パシフィコ横浜で開催された「テクニカルショウヨコハマ」では、高効率減速機付きモータ(藤本教授)、微細光造形技術および新たに開発した3Dプリンタ(丸尾教授)、新生児用装着型黄疸計(太田准教授)、塑性加工プロセス技術(前野准教授)、ナノ構造体による光学センサ(西島准教授)など、幅広い技術分野の成果を展示しました。

2019年10月15日(火)～10月18日(金)幕張メッセで開催された、「CEATEC2019」では小型・高効率・高出力のロボット用アクチュエータ(藤本教授)とカーボンナノチューブと紙や糸との複合材料の各種電子デバイスへの応用例(大矢准教授)を紹介しました。

2019年11月13日(水)～11月15日(金)カルッツかわさきで開催された「テクノトランスファーin かわさき」では持続可能なモビリティシステム研究拠点を始め、YNU研究拠点(大学が認定した研究者のグループ)の紹介と機器分析センターの学外への支援機能などをPRしました。



展示会での技術発表：テクニカルショウヨコハマ(左) CEATEC2019(右)